

工事説明書 〈工事店様用〉

このたびは、本製品をご採用いただき、まことにありがとうございます。
取り付け工事をおこなう前に、本書をよくお読みの上、正しく施工いただきますようお願いいたします。
施工のあとは、お客様に使用方法を十分に説明し、本書及びご愛用のしおりを必ずお渡しください。

TBC FLAT SERIES
TABUCHI (水栓付洗濯用防水パン)

SP1391N (緊急ストッパー付・逆止弁付)
SP1391NJ (継手付・緊急ストッパー付・逆止弁付)
SC1391N (緊急ストッパー付・寒冷地)
SC1391NJ (継手付・緊急ストッパー付・寒冷地)

※SCタイプには逆止弁が付いていません。
継手付は樹脂管用ワンタッチ継手です。

〈目次〉 1.安全上の注意 2.梱包明細 3.寸法図・仕様 4.構成図 5.施工上の注意 6.施工方法

1. 安全上の注意

※ご使用前に、この「工事説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
※ここに示した注意事項を守れないと、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
※施工完了後、試験運転を行い異常がないことを確認するとともに、ご愛用のしおりにそって
お客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
また、この「工事説明書」は、「ご愛用のしおり」と共にお客様で保管いただくように依頼して
ください。

●表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を次の表示で説明しています。

注意 この表示は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

●お守りいただく内容を次の絵表示で区分し、説明しています。

禁止 この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
強制 この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

〈施工上の注意事項〉

注意	
	防水パン及びカプラー、ハンドル等の樹脂部品に硬いものを落としたり、ぶつけたりしないでください。防水パンの破損が原因でケガをしたり、漏水により家財等を濡らす財産損害発生の原因となります。
	防水パンには200kg(洗濯機、洗濯物、水を含む)を超える質量を付加しないでください。
	水栓本体及び排水トラップの取付けは、手順にしたがって確実に行ってください。施工に不備があると漏水の原因となり、家財等を濡らす財産損害発生の原因となります。
	継手付製品(品番の後に「J」が付く製品)は、呼び径13mm樹脂管[JIS K6769 架橋ポリエチレン管M種(XM)、JIS K6787 水道用架橋ポリエチレン管M種(XM)、JIS K6778 ポリブテン管]専用です(これ以降、樹脂管と呼ぶ)。水道用架橋ポリエチレン管及び架橋ポリエチレン管のM種(XMND)、E種は対象外です。詳しくは、弊社樹脂管用ワンタッチ継手「アレスフィット」の説明書を確認してください。
	本製品は屋内専用です。屋外に取付けると凍結による漏水、紫外線又は雨水による劣化、それらの要因で破損する恐れがあるため、屋外では使用しないでください。
	凍結が予想される場合には、配管などに凍結防止対策を施してください。(寒冷地でご使用の場合は、SC1391シリーズを選定してください。)凍結により器具が破損し、財産損害発生の原因となります。 長期間使用しないときは急な冷え込みに備えて凍結防止処理(配管内部の水抜き等)を行ってください。
	洗濯機選定時には本製品の寸法や洗濯機メーカーの設置上の寸法を確認した上で、選定してください。

施工の前には、「工事説明書」を熟読し正しく施工してください。また、ご不明な点は弊社担当者と充分打ち合わせの上、実施してください。

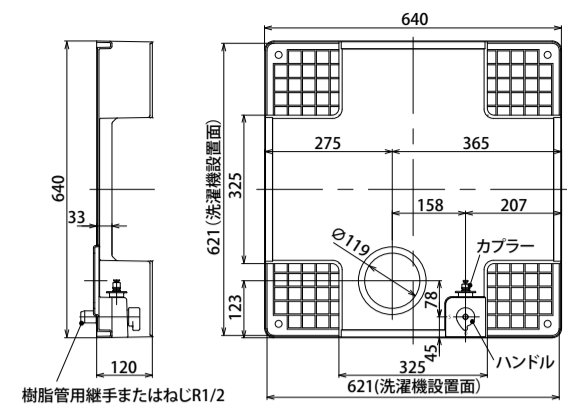
2. 梱包明細

●この製品には下記部品が同梱されています。
部品と個数を確認してください。

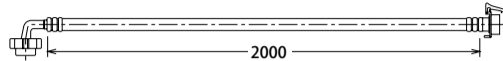
内容	数量
防水パン	1
水栓カバー	1
ビスキャップ	4
ビス(大)	4
継手本体	1
ビス(小)	3
防水ナット	1
水栓セット	1
クイックファスナー	1
プレート押えナット	1
ハンドル	1
ワッシャ付小ねじ	1
ハンドルブッシュ	1
プレート押えナット	1
継手本体	1
防水ナット	1
カプラーホース(2m)	1
防水パン	1
ビスキャップ×4	4
水栓カバー	1
ご愛用のしおり	1
工事説明書(両面印刷)	1

3. 寸法図・仕様

■防水パン
●寸法図(mm)



■カプラーホース

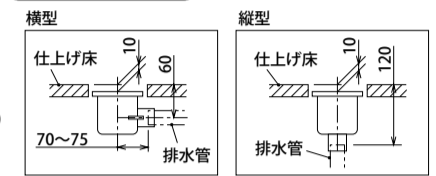


■排水トラップ

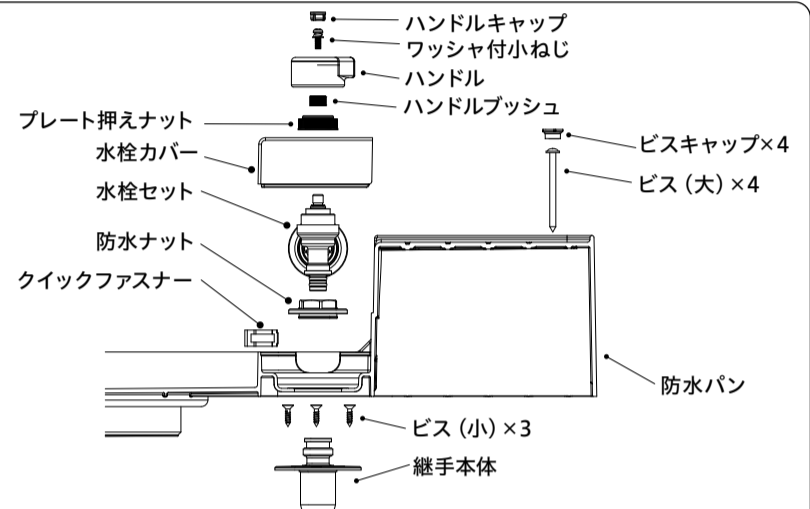
【タブチ適応排水トラップ】
横型: HPY-50W
縦型: HPT-50W

●仕様 使用圧力 0.05~0.75MPa
温度範囲 0~35°C(凍結しない温度)
流体 水道水(井戸水を除く)

排水部取り合い寸法



4. 構成図



5. 施工上の注意

- 給水管及び排水トラップの開口寸法は、図-1を参照し作業を行ってください。
- 工事が完了するまで養生は確実に行ってください。また、カプラーに取付けられた養生キャップは施工時まで取り外さないでください。
- 防水パンに火気を近づけないでください。(タバコ・トーチランプ等)
- 塗料、シンナーなどをつけないでください。汚れ等付着の場合は、中性洗剤をふくませた柔らかい布でふき取ってください。
- 防水パンの上に仕上げ壁を立ち上げないでください。(図-2参照)
- 洗濯機以外のものを載せないでください。
- 防水パン及び水栓部品は施工するまで、必ず梱包材に入れて保管してください。
- 仕上げ床は、凹凸のない平坦な床、たわみのない床となるように仕上げてください。
- 高温(50度を超える)になることが予想される場所には保管や施工をしないでください。製品の破損や変形により漏水の原因となります。
- 必要以外の箇所へシーリング材、潤滑剤等の塗布をしないでください。
- 水栓本体、継手部、防水パン及び排水トラップに強い衝撃を与えたり、無理な荷重を加えないでください。製品の破損や変形により漏水の原因となります。
- エアコンなどのドレン配管を防水パンに引き込まないでください。エアコン用の洗剤が流れた際に製品の破損や変形のおそれがあり、漏水の原因となります。
- 防水パン上に脚立を立てないでください。
- 本製品の据付、位置変更、交換などの作業をするときは、必ず専門の工事店に依頼してください。作業に不備があると漏水の原因となります。

図-2

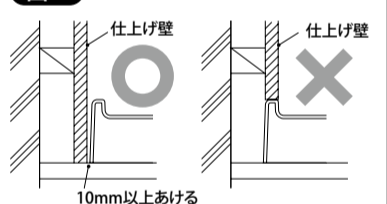
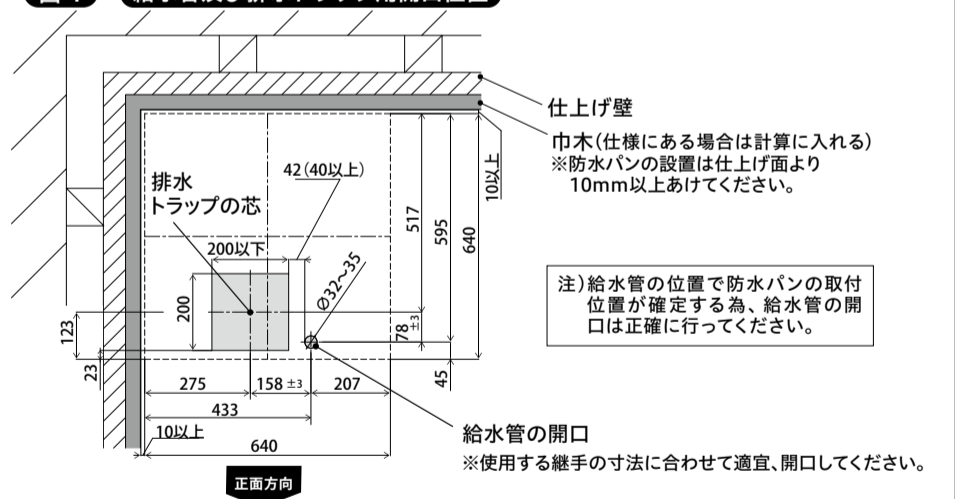


図-1 給水管及び排水トラップ用開口位置



6. 施工方法

6-1. 床の開口

●防水パンの位置を決定し、図-1のとおり給水管および排水トラップの開口を行ってください。

- 排水トラップの開口位置は図-1の正面から見て中心より左寄りの為、ご注意ください。開口位置を中心にするると継手本体が床に固定できません。
- 水栓の位置で防水パンの設置位置及び排水トラップの位置が確定する為、給水管の開口は正確に行ってください。防水パンの設置位置ズレの原因となります。
- 給水管の開口と排水トラップの開口が寸法通りに開いているか確認してください。壁側にずれると防水パンが設置できない原因となります。

6-2. 洗管

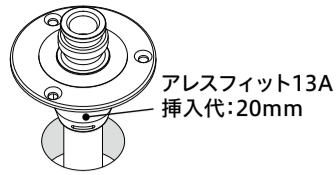
●給水管内のゴミ、異物等を完全に除去してください。

- 管内に異物等が残っていると継手の漏水や水栓の止水不良の原因となります。

6-3. 給水管の接続

【SP(SC)1391N】(継手付)の場合

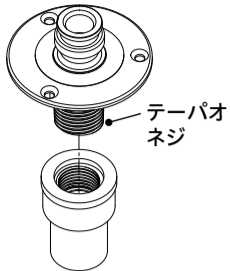
- 樹脂管を押し戻すため、配管の直近の支持を500mm程度あげ、樹脂管に遊びをもたせてください。
- 樹脂管を開口部から床上に通し、継手本体に接続してください。



【SP(SC)1391N】(ねじ付)の場合

〈給水管が樹脂管の場合〉

- 樹脂管を押し戻すため、配管の直近の支持を500mm程度あげ、樹脂管に遊びをもたせてください。
- 現地調達樹脂管用継手を継手本体のテーパネジにシールテープ等で接続してください。
- 樹脂管を開口部から床上に通し、樹脂管用継手に接続してください。



〈給水管がVP管の場合〉

- 現地調達のVP管用継手を継手本体のテーパネジにシールテープ等で接続してください。
- VP管用継手にVP管を接着してください。

	樹脂管の内外面は継手のシール面となる為、傷を付けないでください。継手から漏水し、財産損害発生の原因となります。
	レンチ掛け部以外に工具を掛けないでください。製品破損や施工不良の原因となります。
	継手付の場合は、弊社製樹脂管継手「アレスフィット」の取扱説明書に沿って施工してください。
	継手無し(ねじ付)の場合は、各社継手の説明書に沿って施工してください。

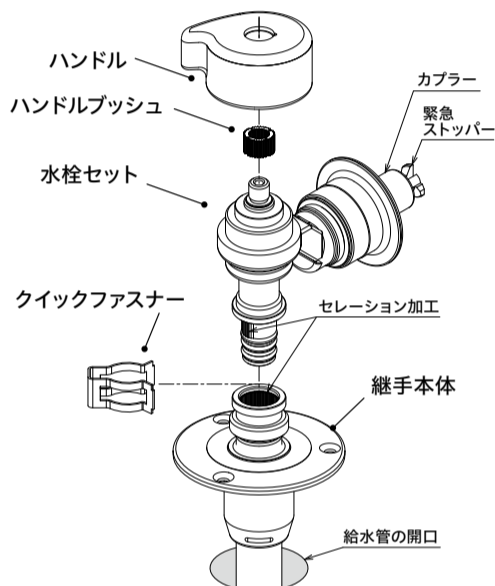
6-4. 排水管の芯出し施工

- 排水トラップの芯が図-1の排水トラップの芯と一致するように排水トラップ本体を排水管に接続してください。

	排水トラップの芯がずれると防水パンと水栓の位置がずれ、部品同士が干渉し施工できない原因となります。
	排水管はJIS管VP50、VU50(呼び50)をご使用ください。

6-5. 管と継手接続部の耐圧検査 (0.75MPa以下)

- 水栓セットのOリング部を継手本体の当たりまでまっすぐ差込んでください。差込みの抵抗が大きく入らない場合は、水栓セットを一度外し左右に振りながら再度まっすぐ差込んでください。
- 水栓セットと継手本体の差込み部の横からクイックファスナーを差込み、水栓セットを固定してください。
- 水栓セットにハンドルブッシュ、ハンドルを差込み、エア抜きはカプラーの緊急ストッパーを揺すりながら行ってください。
- ハンドルを閉じた状態で圧力は0.75MPa以下で検査を行い、検査後は緊急ストッパーから圧抜きを行った後に、クイックファスナー、ハンドル、ハンドルブッシュ、水栓セットを外してください。
- 水栓セットのカプラーに養生キャップを、再度取付けてください。



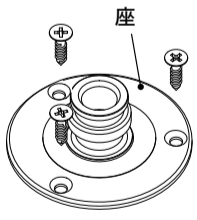
	水栓セットと継手本体には位置決め用のセレーション加工を施している為、接続後に水栓セットを強引に回したり、足で引っ掛けたりすると、セレーション部が破損し位置決めができなくなります。
	カプラーに過度の衝撃や負荷を与えないでください。カプラーの破損によって財産損害発生の原因となります。
	斜めに差し込まないでください。Oリングが破損し漏水することで、財産損害発生の原因となります。差込みの抵抗が大きい場合は、無理やり差し込まないでください。水栓セットを一度外し、再度差込みを行ってください。Oリングが切れ財産損害の原因となります。
	0.75MPaより高い圧力を掛けないでください。破損や止水不良を生じ、財産損害発生の原因となります。
	耐圧検査の際は必ずハンドルを閉じ、緊急ストッパーを解除した状態で行ってください。ハンドルを開いた状態で検査を行うと、緊急ストッパーに過剰な水圧が掛かりカプラーの破損によって、財産損害発生の原因となります。 注意)工場からの出荷時は、ハンドル【開】の状態です。

6-6. 継手本体の床固定

- 継手本体を給水管の開口の中心位置になるよう座を床に当て、付属のビス(小)3本を床にねじ込み固定してください。

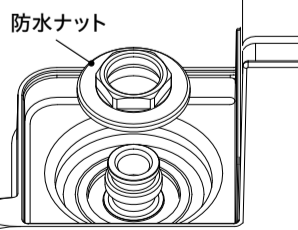
〈給水管が樹脂管の場合〉

- 継手本体を押し下げる際は、樹脂管の最小曲げ半径150mm以下にならないようご注意ください。
- 継手部分で急激な曲げ配管を行わないでください。管や継手が損傷し、財産損害発生の原因となります。
- 継手から100mmは直線部分を確保して配管してください。継手の詳しい取扱いは当社「アレスフィット」のカタログ等をご覧ください。



6-7. 防水パンの設置および排水トラップの接続

- 防水パンの継手開口部を手前に向け継手本体が継手開口部から出るように防水パンを設置してください。
- 防水パンに排水トラップを接続してください。



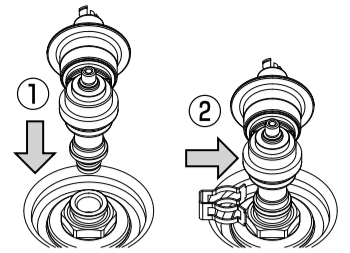
6-8. 防水ナットの締付け

- 防水パンの継手開口部と継手本体の中心が合っていることを確認し、防水ナットを継手本体に工具で締付けてください。
(締付け目安:手締めで締付け防水パンに当たってから、工具で1/2周締付ける)

	防水ナット締付け時に工具で防水パンを傷付けないようご注意ください。
	防水パンの継手開口部から継手本体の赤色マークが見える場合は中心がずれているので、防水パンの位置を修正してください。
	防水ナットの締付けは工具で行ってください。締付けが緩いと防水パンに水がたまった際に水が床下に漏水し、下階も含め財産損害発生の原因となります。二面巾は26mmです。締付けはモンキーレンチ又はソケットレンチでの施工が可能です。

6-9. 水栓セットの接続

- 水栓セットのカプラー(吐水口)を奥側(3寸法図・仕様参照)の向きを合わせ、Oリング部を継手本体へまっすぐ差込んでください。差込みの抵抗が大きく入らない場合は、水栓セットを一度外し左右に振りながら再度まっすぐ差込んでください。
- 水栓セットと継手本体の差込み部の横からクイックファスナーを差込み、水栓セットを固定してください。



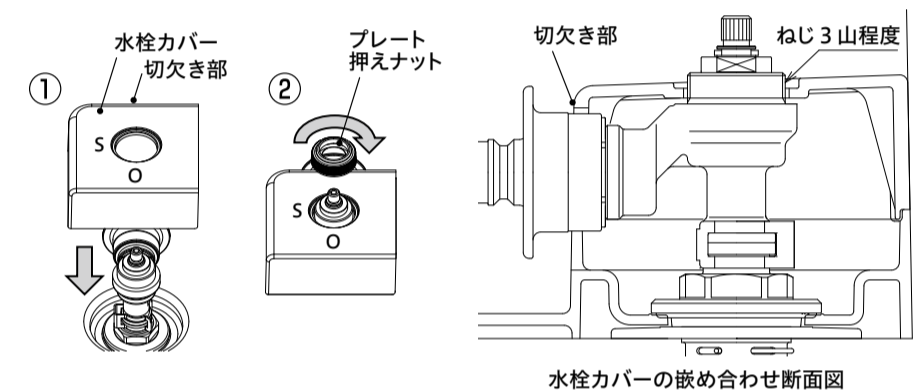
	水栓セットと継手本体には位置決め用のセレーション加工を施している為、接続後に水栓セットを強引に回したり、足で引っ掛けたりすると、セレーション部が破損し位置決めができなくなります。
	斜めに差し込まないでください。Oリングが破損し漏水することで、財産損害発生の原因となります。差込みの抵抗が大きい場合は、無理やり差し込まないでください。水栓セットを一度外し、再度差込みを行ってください。Oリングが切れ財産損害の原因となります。
	養生キャップはカプラーの損傷などを防止するため設置完了まで外さないでください。カプラーが損傷した場合、水漏れなどの重大な事故につながる可能性があります。なお、養生キャップはカプラーからの脱落防止のため、嵌合性を高めています。
	カプラーは分解しないでください。分解・再組立は部品の欠損を生じさせ本製品の性能を発揮できなくなる恐れがあります。
	カプラーの方向を調整する際は、一度水栓セットを取外してから方向を調整し、再度差し込んでください。
	水栓セットを軽く引っ張りクイックファスナーが確実に装着されている事を確認してください。不完全な装着は漏水し、財産損害発生の原因となります。

6-10. 取付け後の確認 (0.75MPa以下)

- 6-5の要領でクイックファスナー接続部の耐圧検査を行ってください。

6-11. 水栓カバーの設置および固定

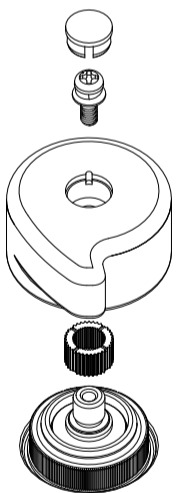
- 水栓カバーの切欠き部をカプラーの向きに合わせ水栓セットの上に被せ、防水パンに嵌め合せてください。
- プレート押えナットを水栓セットのネジ部に手締めでしっかりと固定してください。



	水栓カバーは水栓セットのネジが3山程度見えるまで嵌め合せてください。
	水栓カバーが設置できない場合は防水パンがずれている為、6-8に戻り、赤色マークが見えないように、施工をやり直してください。
	水栓カバーがガタつかないように締付けてください。施工不良の原因となります。

6-12. ハンドルの装着

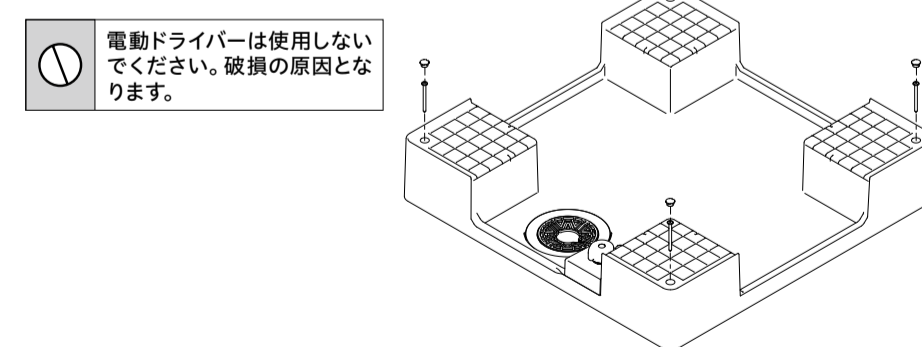
- 水栓セットの頂部にハンドルブッシュを差込み、ハンドルブッシュにハンドルを任意の向きで仮装着してください。
- ハンドルを右に止まるまで回した後、一度ハンドルを取外し、ハンドルの凸部が水栓カバーの「S」方向へ向くように、再度差込み本装着してください。
- ハンドルを左右に回しハンドル凸部の向きと水栓カバーの「O」「S」の位置が一致するか確認してください。
- ワッシャ付小ねじをハンドルにドライバーを用いて手締めで固定し、ハンドルキャップをハンドルに装着してください。



	方向を間違えると、開閉状況が目視できなくなります。
	電動ドライバーは使用しないでください。破損の原因となります。

6-13. 防水パンの固定

- 付属のビス(大)4本を防水パンの四隅にドライバーを用いて手締めで固定してください。
- 最後にビスキャップ(4個)を防水パンの四隅に装着してください。



施工完了の確認後、カプラーホース、本書、及び「ご愛用のしおり」をご使用者様へ必ずお渡しください。	
	緊急ストッパーはあくまでも緊急時の事故を防ぐためのものです。未使用時はハンドルを閉めておいてください。
	防水パンが床に対し浮き上がりがないことを確認してください。固定ビスは設置面に対して、真っ直ぐ取り付けようしてください。斜めに取付けを行った場合、取付け部が破損する場合があります。破損した場合は、そのまま使用せず、新しい物と交換してください。財産損害発生の原因となります。
※仕様は予告なく変更する場合があります。最新の仕様は当社セールスセンターへご確認ください。連絡先は「ご愛用のしおり」をご確認ください。	